

Rotary 西尾ロータリー Weekly

2021-22 年度 岡田会長テーマ ～新しい友を作ろう～
第 3059 回例会 2022 年 3 月 1 日(火) 天気:雨 No.21

2021-22 年度 RI テーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会長 / 岡田光祥 幹事 / 大内基浩

クラブ会報委員 平岩博行 / 加藤浩道 / 山崎周彌

例会日: 火曜日 12:30 例会場: 西尾コンベンションホール

事務局: 西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL: 0563-54-7770 FAX: 0563-54-7050 URL: <http://www.nishio-rotary.org>



食事「なだ万」

【本日のプログラム】

司 会 本多 淳例会運営委員長 齊 唱 「奉仕の理想」
プログラム 『RI 第 2760 地区ガバナー公式訪問』 ガバナー 沓名俊裕君
地区幹事 細井英治君 地区事務長 本間育子君 * 短縮例会

【副会長挨拶】



カーボンゼロを取り上げていますが、なかなか難しいという感覚を持っています。特に日本の発電方法は再生可能エネルギーが18%程、石炭が32%程です。1番多いのがLNGで32%です。2030年の目標に、再生可能エネルギーを36~38%、石炭19%、原子力20%、LNG20%と掲げていますが、ヨーロッパからまだ石炭を使うのかと非常にクレームがついています。車業界ではEVを作らざるを得ないですが、石炭で電気を作ってEVを走らせるのはどうなのか、ということです。石炭を燃やすとガソリンのエンジンより綺麗な空気が出ているのでしょうか？日本でEV車を作っても、石炭で発電してはCO2が減りません。原発に関しても稼働中と停止中の危険性はどのくらい違うのかが良く分かりません。50基以上ある為、無くすわけにもいきません。廃炉は非常に難しく、まだ福島もどうなるか不明な状態です。いずれにしても、カーボンゼロに向けてやっていかなければならないことは変わらないので、機会があれば勉強をしていきたいと考えています。

本日はガバナーよりお話を聞く機会を得られましたので、皆さん静聴してください。よろしくお願い致します。

【委員会報告】

〈出席委員会〉 岩瀬淳治委員長

本日の出席数 52名

2月1日のメイクアップ 18名

訂正出席率 100%

〈スマイルボックス委員会〉 本多 淳例会運営委員長

ガバナー 沓名俊裕君 地区幹事 細井英治君 地区事務長 本間育子君 スマイルして頂きました。



懇談会



(左より) 朝岡 正君 沓名俊裕君 細井英治君
大内基浩君 本間育子君

【卓話】

『R I 第 2 7 6 0 地区ガバナー公式訪問』 ガバナー 畚名俊裕君



例会前に岡田会長が残念ながら体調が良くないということで不在でしたが、朝岡副会長、大内幹事と共に親睦会を行い、西尾ロータリークラブが大変前向きに取り組み、今後も益々活発に活動されることを感じました。

今年の岡田会長のテーマ「新しい友をつくろう」は、シェカール・メータRI会長のテーマに非常に合っていると思います。RI会長は「会員増強なくして、クラブの発展なし」という勢いで非常に頑張っている方です。このテーマを受け、私は「チェンジロータリー 新時代への成長に！～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～」、そして「人類の危機を救うロータリーになろう！」というテーマを掲げました。新型コロナウイルス感染は今年で3年目に入ります。社会的に大きな影響を及ぼした第5波の後、6月に向けて感染者が現在の第6波であるオミクロン株の感染は10万人を超す勢いで拡大しています。しかし、まだまだ6月のwithコロナ、実質コロナゼロを諦めているわけではありません。「感染しない・させない」を基本に、皆様で注意し、防止して行く事が大切です。新型コロナはこの2年で時代に大きな変化を及ぼしました。その1つがデジタル化です。オンライン会議が浸透し、ロータリーでもオンライン例会が開催されました。リモート時代に突入していますが、やはりリアルには勝てないと感じています。

もう1つの社会危機である環境問題に関して、現在、72億炭素トンを排出していると言われていています。31億炭素トンが植林や海洋が自然に吸収してくれると言われていている量です。日本も2050年のカーボンニュートラルを目指しています。つまり今後、排出量を半分以上である約40億炭素トン減す必要があります。しかし、現実的には2030年にはこの数字は16%UPと言われていています。こうした環境下で、まずはCO2の排出を止めるしかないという意識を持つことが大事です。脱カーボンに向けて協力意識を持つために、WWFで84クラブの皆様にご依頼の要請を出しました。この記念植樹はカーボンゼロ植樹と名付けています。2月27日に名古屋の26ロータリークラブが集まり、平和公園で記念植樹をしました。テレビ局3社からの取材も受け、大きく報道して頂きました。西尾ロータリークラブも一色ロータリークラブと合同で3月17日に佐久島でカーボンゼロ植樹を実施すると聞いています。ご協力をありがとうございます。よろしくお祈り致します。「We are one」、愛知の84ロータリークラブ・4700名の会員が1つになって、この地域に大きなインパクトを与えていくために、象徴となるゼロバッジを作りました。たかがバッジ、されどバッジです。SDGsもはじめは何のバッジだろう？17色って何だろう？というところから始まりました。今では多くの方がSDGsを認識し、17のゴールに向けて取り組みを進めています。コロナゼロ・カーボンゼロ支援も、SDGsと同じように、何のバッジ？というところから始まっていけば良いと思っています。着用をよろしくお願い致します。

行動方針では「クラブの発展なくして、ロータリーの発展なし」と掲げました。84クラブがより元気に、地域に貢献度の高いロータリーになるために、クラブを地区が下支えしていく構図です。クラブと地区が一丸となって取り組む姿勢が大事だと思っています。もう1つ掲げているのが「チェンジロータリー」です。昔、ロータリークラブは「親睦、例会、1業種1社、職業を通して社会奉仕、I Serve」としてステータスとなっていました。現在は、親睦を中心とした活動になりつつあります。時代の変化と共に、益々変化していかなければならない中で、会員増強を掲げている今、入会する人にとって「職業人としてメリットのあるロータリー」にしていく必要があるという風に考えています。

先日2月26日に元RI理事や米山記念奨学会理事長を務めた豊田ロータリークラブの齋藤直美さんの偲ぶ会がありました。大変ロータリーを愛してやまない方でしたが、その会に参加して改めてジンときた言葉があったので紹介します。「例会なくして、親睦なし。親睦なくして、奉仕なし。奉仕なくして、感動なし」という言葉です。今までにも何度か聞いてきた言葉でしたが、今回改めて聞いて、胸に刺さるような思いでした。

本日はご清聴頂きまして、ありがとうございました。